

## 福岡病院

【基本理念】「思いやり」病と闘う人への共感と、良質の医療を目指す向上心

当院は、福岡市の南西に位置し市の中心街から約10kmの郊外にあります。周囲は田園風景を残した閑静な住宅地にあり、特に隣接する用水畔を中心に職員の善意で桜が植樹され、来訪者の心に安らぎを与える散策の場となっています。一般病棟4棟と重症心身障害児（者）病棟3棟が混合する複合型病院であり、主に「免疫・アレルギーの基幹医療」と「呼吸器、成育、重症心身障害児の専門医療」を行っています。その他、関節リウマチや睡眠呼吸障害医療なども行っています。アレルギー分野では、福岡県で唯一のアレルギー疾患医療拠点病院に指定されており、アレルギーセンターを開設しています。アレルギーセンターからは福岡県の花粉情報も発信しています。

【施設概要】2023.7（データは2022年度実績）

1. 所在地：〒811-1394 福岡市南区屋形原 4-39-1
2. 特徴：福岡県アレルギー疾患医療拠点病院
3. 診療科：14 診療科  
内科、心療内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、アレルギー科  
リウマチ・膠原病内科、小児科、外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科  
リハビリテーション科  
病床数：330床（一般200、重心130）
4. 薬剤師数：8名（定数7名）  
薬剤部長1名、副薬剤部長1名、主任薬剤師4名（うち治験1名）  
薬剤師2名、薬剤助手1名
5. 主な業務：  
(ア) 調剤：入院29,849枚/年、外来院内3,494枚/年（院外処方せん発行率92.2%）  
(イ) 注射：入院32,598枚/年、外来3,211枚/年  
(ウ) 薬剤管理指導件数：2,208件/年（184件/月）  
(エ) 無菌製剤処理料：Ⅰ；206件/年（うち閉鎖式使用17件/年）、Ⅱ；0件/年  
(オ) 外来化学療法加算：0件/年（化学療法は実施しているものの施設基準満たさず）  
(カ) 病棟薬剤業務実施加算件数：7,031件/年（586件/月）  
(キ) 病棟薬剤業務：実施（実施病棟数2：3病棟及び4病棟）  
(ク) チーム活動：ICT/AST（感染対策向上加算1、指導強化加算）、  
NST（栄養サポートチーム加算あり）、  
褥瘡対策チーム
6. 特徴的な業務：外来患者に対する吸入指導（福岡病院 吸入指導マニュアル R5.3 一部改訂）
7. 2022年度の取り組み：
  - ・退院時薬剤情報管理指導料取得開始
  - ・プレアボイド報告の推進
  - ・ジェネリック医薬品の更なる採用の推進（後発医薬品使用体制加算1取得維持）
  - ・吸入指導マニュアルと吸入チェックリストの改訂

## 8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	○
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	×
軟膏混合器	○

## 9. 目標 (2023 年度)

### 病院目標

- ①病院経営の改善
- ②職員の自立心と向上心の育成
- ③魅力ある働きやすい職場環境づくり
- ④医療安全の推進
- ⑤専門性の高い良質な医療の提供
- ⑥地域医療連携とチーム医療の充実

### 薬剤部目標

#### ①医薬品適正使用の推進

薬剤管理指導及び病棟薬剤業務の充実、医薬品適正使用を意識したタスクシェア・タスクシフトの推進

#### ②医療安全の推進と感染症にかかる抗菌薬等の適正管理

疑義紹介事例の収集及び他職種との情報共有の推進、抗菌薬等の適正使用及び管理

#### ③医薬品費用の削減

医薬品購入金額の削減（ジェネリック医薬品の更なる採用の推進）、医薬品廃棄金額の減少

#### ④専門・認定・指導薬剤師の計画的な育成

積極的な学会等への参加及び発表、積極的なチーム医療への参加及び自己研鑽